

# 樽前山

## 1 概況

A 火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いています。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

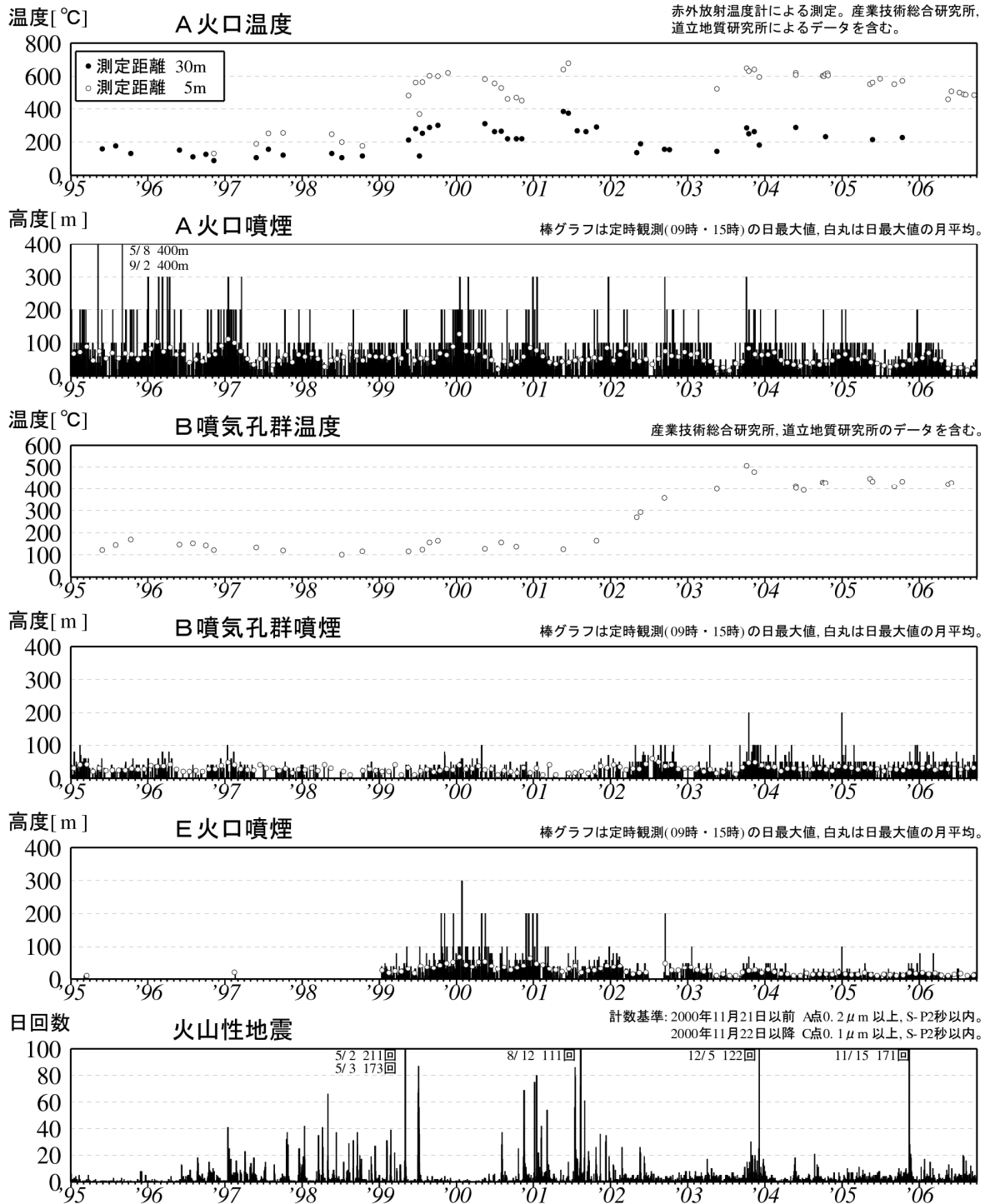


図1 樽前山 最近の火山活動経過図(1995年1月～2006年9月)

樽前山の火山活動解説資料は気象庁の他に、北海道のデータも使用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています。(承認番号 平 17 総使、第 503 号)

## 2 噴煙および火口の状況

各火口の噴煙の状況は前期間と大きく変わらず、噴煙の高さは火口縁上おおむね 50m 以下で推移しました。

17 日に行った現地調査では、A 火口の最高温度は約 490℃(前回 8 月 9 日でも約 490℃)を観測するなど、火口内の熱的な状態に変化はなく依然として高温の状態が続いていました。

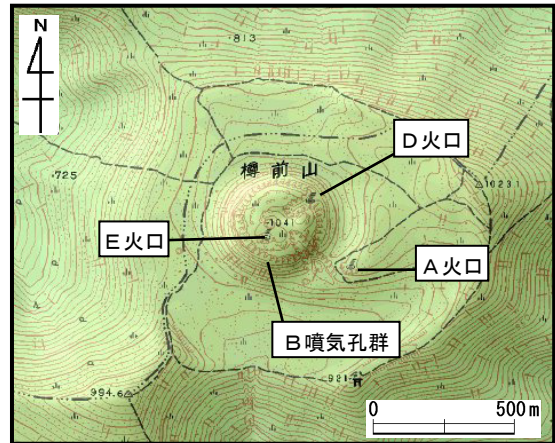


図 2 樽前山 山頂火口周辺図



図 3 樽前山 A 火口及び B 噴気孔群  
(2006 年 9 月 17 日西山から撮影)



図 4 樽前山 A 火口  
(2006 年 9 月 17 日南側から撮影)

RG: 2 8: 1.00 SC: EL: HV

06/09/17  
09:24:39

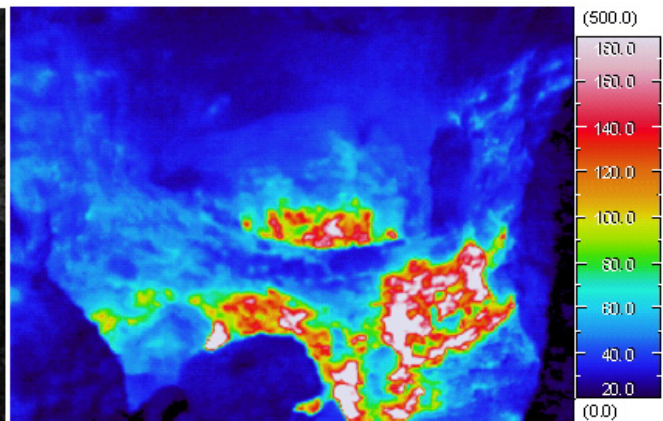


図 5 樽前山 南東側から撮影した A 火口の表面温度分布 (2006 年 9 月 17 日)

### 3 地震および微動の発生状況

火山性地震は1日あたり0~12回と少ない状態で経過しました。震源はこれまでと同様、山頂ドーム直下のごく浅い所(山頂から深さ0.5~1km付近)に集中していました。火山性微動は観測されませんでした。

表1 樽前山 地震・微動の月回数 (C点: 図6のTARC)

2005~2006年	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
地震回数	96	349	38	60	77	45	32	75	61	105	95	69
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

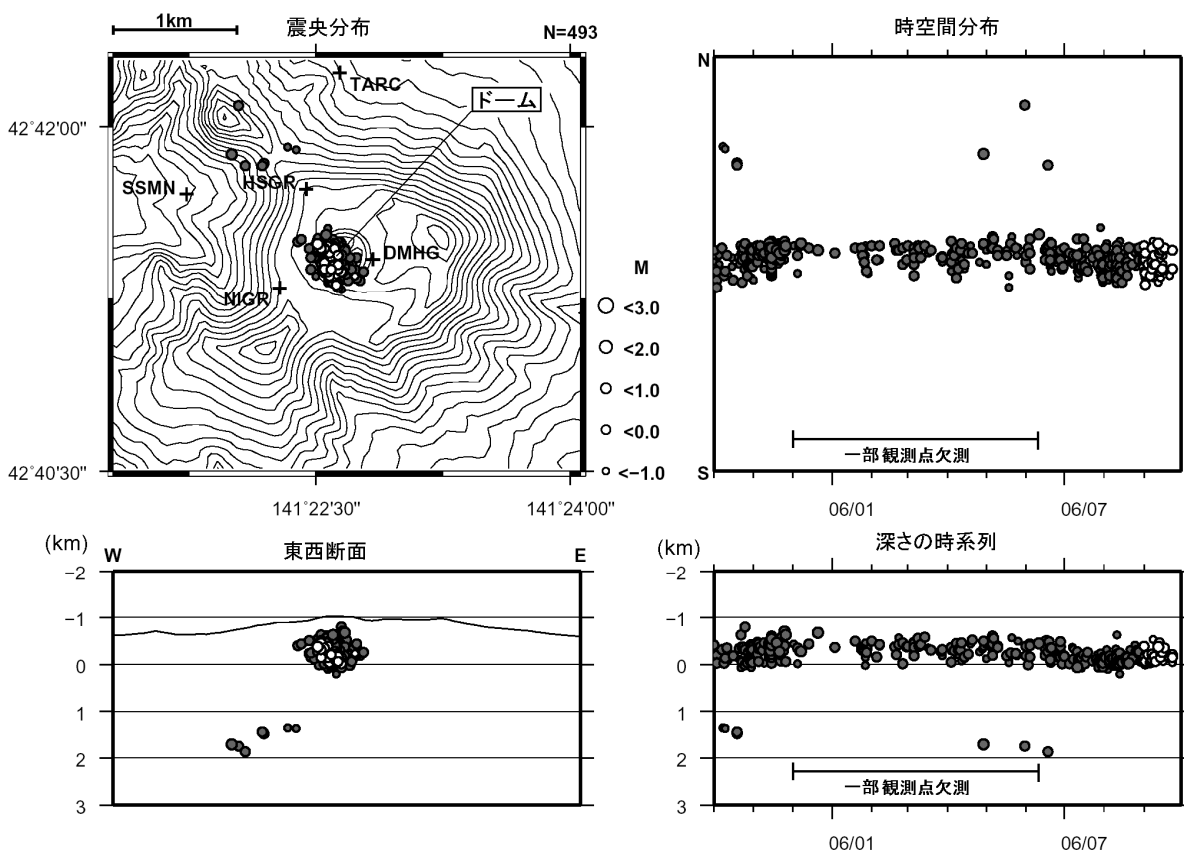


図6 樽前山の震源分布図 (2005年10月~2006年9月、+印: 地震観測点)

○印は今期間(2006年9月)に求まった震源を示しています。

●印は前期間までの11ヶ月間(2005年9月~2006年8月)に求まった震源を示しています。

前期間までの震源は山頂ドーム直下のごく浅い所(山頂から深さ0.5~1km付近)に集中し、ドームの北西1.5km付近の浅い所にも分布しています。今期間に求まった震源は、山頂ドーム直下のごく浅い所(山頂から深さ0.5~1km付近)に集中しています。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は観測されませんでした。

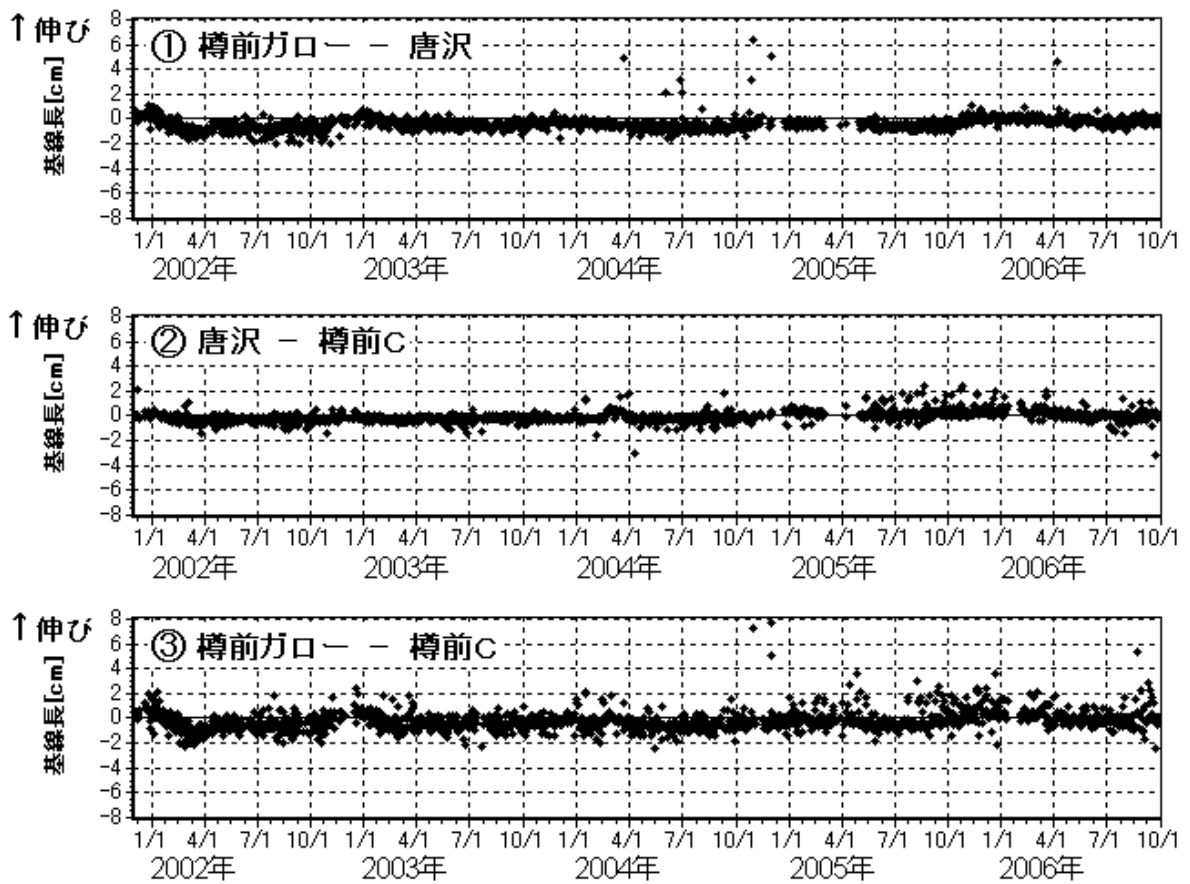


図7 樽前山 基線長変化 (2001 年 12 月～2006 年 9 月) グラフの空白部分は欠測

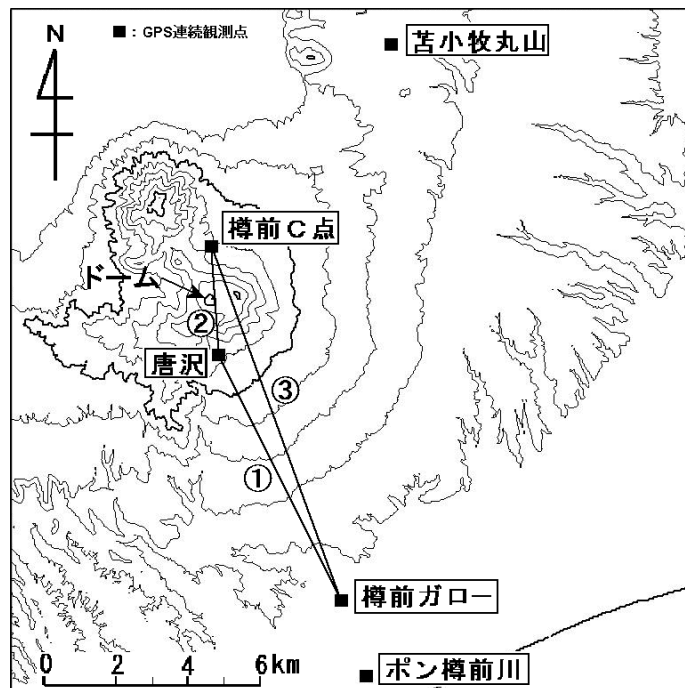


図8 樽前山 GPS 観測点配置図